

伝統保ち 経営革新

天彦産業 創立130周年

特殊鋼流通の天彦産業(本社・大阪市住之江区)は今年1月8日に創立130周年を迎えた。これを機にきょう6月1日付で樋口克彦社長が会長に、実弟の樋口友夫専務が社長に就任した。前挽鋸メーカーから戦後、特殊鋼流通に進出した同社が、その伝統を生かした時代をどう乗り切っていくのか、新社長に今後の方針、展開を聞いた。(橋川 渉)

「130年という長い歴史を持つ企業のトップに立った感想は。」

「周りからは、いずれは社長に」とよく言われてきたが、正式に社長就任を打診されたのは今年に入ってから。ただ専務時代から実務を任されてきたので戸惑いはあまりない。前社長が、一気に

すべての負担を掛けては消極策ばかりにならざるを得ない。この5、6年心強いことだ。伝統企業として残ってきたことを誇りに思っている。この5、6年企業トップとしてプレッシャーは感じるが、伝統は革新の連続を旨に常に前進していきたい。」

「直近の業績を聞かせてください。」

「05年3月期は売上高が前期比30%増の37億円、経常利益は大幅増となった。当社は、品種につきメーカー品種につき1メーカーとしか付き合っていないので、需給タイトな中でも比較的量の確保ができた方だと思う。今期は、4、5月は前年を上回る状況だが、鉄鋼市況全般に一段落があるため、とりあえず前年を下回らない業績を残したい。」

「新社長として目指す方向は。」

加工品比率50%に引き上げ

また当社が扱うシリコロイ(高珪素ステンレス鋼)を切

「安定した収益体質にするためファブレスメーカーを目指している。」

「現在、国内販売だが、これだけではモノ作りとは程遠い。そこで最近フライス盤を2台導入し、金型材の6面加工を始めた。このフライス盤による加工をワンストップにし、さらには加工度を上げる方法を検討していききたい。」

「営業面では、ユーザーのコスト削減や工程短縮など生産の合理化に役立つ提案をしていきたい。」

「加工品比率を全体で50%に引き上げたい。」

「現在、国内販売だが、これだけではモノ作りとは程遠い。そこで最近フライス盤を2台導入し、金型材の6面加工を始めた。このフライス盤による加工をワンストップにし、さらには加工度を上げる方法を検討していききたい。」

「営業面では、ユーザーのコスト削減や工程短縮など生産の合理化に役立つ提案をしていきたい。」

樋口 友夫社長に聞く



提案営業、さらに拡充

「提案営業、さらに拡充」

「提案営業、さらに拡充」

併せ持つっており、そのよさを大手エンドユーザーに認めてもらって、これを武器に主として営業部門のこれからの展開は。」

「現在、売上高の25%程度を占めており、主に台湾、韓国への素材輸出だ。ローマシオンだが今後も継続していく。また今年度下期にはタイに駐在所を構え、現地需要に対応していく。既にタイに進出している。」

「37名の社員全員と面談しベクトルを合わせた。当社の企業理念は近江商人の「三方(売り手、買い手、世間)良し」の精神だ。これを表現していくには、私だけでなく社員全員の力が必要だ。そのためには社員を物心両面で豊かにし、幸せにするのが経営者としての役割だと考えている。その確信を社員全員に持ってもらう。」

プロフィール

(ひぐち・ともお)

モットーは「人生は先が最善」。「人生は先の事が分からないので常にいまが最善でありたい」という。趣味は年40回ほどゴルフ(日19)と牡丹栽培。長谷寺(奈良県桜井市)の牡丹を自宅で栽培しており「毎年きれいな花を咲かせるため葉や花を落とすタイミングが難しい」という。

略歴

1973年 近畿大学商経学部卒、アサヒスティーブル入社。

1977年 天彦産業入社、取締役を経て、97年専務。49年7月生まれ。滋賀県出身。

天彦産業130年の歩み

- 1875年 初代樋口彦三郎、前挽鋸製造業・天彦商店を滋賀県水口町で創業
- 1877年 工場を建設。商号を「天彦」に定める
- 1916年 樋口宗太郎が2代目彦三郎を襲名
- 1918年 朝鮮、台湾、フィリピンなどで通信販売を開始
- 1922年 初代彦三郎死去
- 1933年 2代目彦三郎急逝、好彦が3代目彦三郎を襲名
- 1945年 戦時下、滋賀県下の鋸業界が統合し、近江鋸製作所設立、3代目彦三郎代表取締役就任
- 1947年 近江鋸製作所解散、天彦商店が買収合併し天彦製作所と改称、大阪市西区に出張所を設け、鋼材販売を開始
- 1952年 100万円に増資
- 1961年 大阪出張所を大阪営業所に昇格。
- 1967年 鋸の生産部門を廃止。天彦産業と改称し500万円に増資
- 1970年 1000万円に増資
- 1972年 1500万円に増資。大阪営業所社屋、倉庫を東大阪市長田に建設。樋口彦三郎社長黄綬褒章受章
- 1975年 創業100周年。2000万円に増資
- 1977年 株式会社へ改組。新潟県の野水鉄鋼に資本参加
- 1981年 樋口彦三郎社長が勲四等瑞宝章受章
- 1983年 東大阪の第2工場完成、第2シャーリングも増設
- 樋口克彦専務が代表取締役社長に就任
- 1985年 宮田鋼商店及び宮田不動産と合併。2083万円に増資
- 1987年 現在の大阪南港鉄鋼流通団地に社屋及び倉庫が完成
- 1990年 刃物用クラッド鋼板の販売部門として、大阪クラッドに資本参加。オートシャーリングを業界で初めて導入
- 1994年 能力主義賃金制度を導入
- 2000年 三井アーバンホテルで故・樋口彦三郎前会長の社葬
- 2002年 樋口克彦社長が全特協大阪支部長に就任、シリコロイの取り扱いを開始
- 2005年 創業130周年。金剛山山頂にステンレス製電波時計寄贈、オーストラリア研修旅行を実施。樋口友夫専務が社長に昇格